

- ◆ 近畿財務局では、地方創生は次世代を担う若者にこそ積極的に考えてもらうべき課題と考え、やる気のある若手職員を公募によりメンバー募集し、『Teamちほめん』（20～30歳代の職員52名）を結成。
- ◆ 『Teamちほめん』の活動にあたっては、【柔軟な発想・交流・一体感】を合言葉に、若手職員が自主的・能動的に活動できる態勢を構築。
- ◆ 各地域における地方創生支援について、アイデアの募集・企画の他、当局が実施するイベントへの参加を通じて、組織一体的かつ継続的な活動を目指す。

1. 成果事例の概要等

- 地方創生は次世代を担う若者にこそ積極的に考えてもらうべき課題と考え、意欲のある若手職員を公募し『チームちほめん』（20～30歳代の職員52名）を結成。
- 【柔軟な発想・交流・一体感】を合言葉に、若手職員が自主的・能動的に活動できる態勢を構築し、地方創生支援についてのアイデアの募集・企画の他、当局が実施するイベントへの参加を通じて、組織一体的かつ継続的な活動を目指す。

【柔軟な発想】: 職員の自発的な発想を活用。メンバー同士のメーリングリストを活用した情報共有や、メンバーが普段考えている地方創生のアイデア・企画を話し合えるよう、四半期ごとにワークショップを開催。



(ワークショップの様子)

【交流】: 地域の更なるニーズとキーパーソンの発掘、及び他地域への波及を目的に、講演・勉強会後の交流会にて、地域の生の声を収集。

【一体感】: 組織一体的に取り組むため、毎回イベントごとに10名程度のチームを編成。イベントごとに「予告」とストーリー仕立ての「結果」をイントラネットで公開。



このような取組を進める中、Teamちほめん（若手職員）が各種ヒアリング等の機会に地方創生支援に係る端緒を掴み、企画・立案からイベントの実施まで、自主的・能動的に取り組む事例も出てきているところ。

2. これまでの取組の成果等

① 若手職員発案による取組

【兵庫県：～大学生と農業から考える『淡路島』の地方創生・地域活性化～】

- ・淡路島の未来を考える意識の醸成を目的に、地域の次世代の担い手(若者)による意見交換会を開催。
- ・吉備国際大学と連携し、「学生」・南あわじ市在住の「若手営農者」・地元金融機関である「淡路信用金庫」の若手職員・神戸財務事務所の若手職員による「淡路島の農業(農産物等)を活かした地方創生・地域活性化」をテーマとした意見交換(ワークショップ)を実施。
- ・ワークショップで出た意見・提言については、南あわじ市に還元。



【京都府：留学生向けインターンシップ事業促進のための意見交換会】

- ・若手職員が既存業務におけるヒアリングの中で端緒を掴み、外国人留学生の府内就職と活躍機会の拡大に向けて、(公財)大学コンソーシアム京都と京都府下の3信用金庫及び京都財務事務所との意見交換会を開催。

(出席者)大学コンソーシアム京都・京都信金・京都中央信金・京都北都信金・京都財務事務所職員



② 地方公共団体・財務事務所の「若手職員」による地方創生に向けた意見交換会

【和歌山県美浜町】

- ・「美浜町の地方創生」をテーマに、若手職員ならではの素直な意見・認識を共有。今後の地方創生に向けた取組の更なる発展を後押しするため、美浜町と和歌山財務事務所若手職員による意見交換会を実施。

(出席者)
左側：美浜町役場職員
右側：和歌山財務事務所職員



【奈良県生駒郡4町(安堵町・斑鳩町・平群町・三郷町)】

- ・生駒郡4町と奈良財務事務所の若手職員が4町の地方創生の取組内容や課題といった各団体共通のテーマについて、地方創生の推進につながる意見交換を実施。

(出席者)
左側：生駒郡4町役場職員
右、手前側：奈良財務事務所職員



- ◆ 上記の他、Teamちほめんは各種地方創生イベントへ様々な役割で参画。また、Teamちほめんが企画・立案からイベントの実施まで手掛ける、林業をテーマにした地方創生セミナーや大学・金融機関と連携した就業支援・地域活性化イベントなどを29年度に実施予定。

3. 今後の課題と近畿財務局等の対応

- 引き続き地方創生を財務局の最重要課題として位置づけ、地域のニーズと当局の知見・ノウハウをつなげる取組を、組織一体的かつ継続的に推進していく。